

1 多様なアプローチ（きっかけづくり）による里地里山の再評価と協働による取組の進展

⑤環境教育・地域学習のフィールドとしての里地里山に着目し、環境教育活動等として保全再生活動に取り組んでいる例

熊本：里地公園を活用した総合学習（農村生活体験や米作り）

氷川町の立神峡里地公園は、平成 10 年度の宮原町里地等環境基本計画総合推進モデル事業により整備され、環境学習のフィールドとして活用されている。里地公園での里地里山保全再生に関わる環境学習イベントは、のべ約 70 日、参加者約 1600 人にのぼっており、さらに、立神峡公園管理組合および里山クラブどんごろすのボランティアによる保全管理作業が加わっている。これによって、里地公園を拠点とする環境学習イベント、立神峡公園内の照葉樹林を含む里地里山の保全活動が行われている。参加者は、小学生から高齢者まで幅広く、地域、熊本県内、近畿圏や関東圏からの参加者もみられる。



田起こしから脱穀まで9回の総合学習



たい肥づくり研修会（踏み込み温床）



協力指導員が活動や生き物調査を指導



落ち葉かきなどの学習プログラムもある